



図書委員会広報班による本の紹介

『天国までの49日間』 櫻井千姫：著/スターツ出版：刊



14歳の折原安音は、クラスメイトからいじめをうけて来ていた、いじめを受けているうちにどんどん苦しくなってしまう、飛び降り自殺をしてしまう。しかし死んでしまった直後、天使が現れ、天国に行くか地獄に行くかを49日間の間に自分で決めるように言い渡される。幽霊になってしまった安音は、靈感の強い同級生の榊洋人と、共に過ごしていくうちに、初めて自分の本当の気持ちに気づいていく。一方で、安音をいじめてきたメンバーが謎の事件に次々と巻き込まれていく……。この本は、少しだけミステリーでまた感動する小説です。ぜひ、読んでみてください。

(1C O)

『雨上がり、君が映す空はきっと美しい』 汐見夏衛：著/スターツ出版：刊



外見に悩みを持ちネガティブになっている高校一年生「美雨」が、信念を持って前向きに目標へ向かって頑張る「映人」と出会い部活を通してそのままの自分を認め、前向きになっていく、読んでいて自分も前向きになれる青春感動ストーリーです。この本は、キュンキュンしつつも自分もポジティブになれる元気をくれる小説です！ぜひ読んでこの物語を楽しんでください。

(1D A)

『グッバイ宣言』 三月みどり：著/KADOKAWA：刊



将来は、なんとなく大学を卒業してなんとなくの企業に就職して、なんとなく家庭を作っていく普通の人生になると思っていた「桐谷翔」。しかし、高校生活最後の年にやることなすこと無茶苦茶な「七瀬レナ」と出会う。しかも彼女の将来の夢はハリウッド女優だと言う。そんな彼女に影響され自分の将来について真剣に向き合っていく……。この本は大人気ボカロ『グッバイ宣言』がモデルになったものです！とても面白いので読んでみてください！

(1D T)

『ないものねだりの君に光の花束を』 汐見夏衛：著/KADOKAWA：刊



特別な存在に憧れを持つ平凡で地味な脇役だと思っている高校生の「影子」と、誰もが認める主人公のような唯一無二の存在であるアイドルの「真昼」。この2人が図書委員になったことをきっかけにお互いのことを知っていく青春物語です。この本には普通という言葉が多く出てきて普通について考えさせられつつも、読みやすい恋愛要素の多い小説です。ぜひ読んでみてください。

(1F K)

『真夜中の底で君を待つ』 汐見夏衛：著/幻冬舎：刊



自分の気持ちを言葉にするのが苦手な女子高生、更紗と、更紗のバイト先の常連さん、「黒縁さん」こと仁科さん。たまたま夜の公園で出会った2人が、ポツポツと言葉を交わし合いながら成長していく……。言葉足らずによるすれ違いや、言葉を発することの怖さ、難しさを描いた、今の私たちが読むべきだと思った1冊でした。少し恋愛もあって読みやすいので、ぜひ手に取ってみてはいかがでしょうか。

(1F H)